

スコアシート		実施設計段階				全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.31</b>		-	<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.5</b>	0.15	-	-	<b>2.5</b>
<b>1.1 室内騒音レベル</b>	-	<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
<b>1.2 遮音</b>	-	<b>1.8</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	-	<b>1.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 界壁遮音性能	-	<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	<b>1.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
<b>1.3 吸音</b>	-	<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 室温制御</b>	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 室温	-	<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	-	
2 外皮性能	-	<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
3 ゾーン別制御性	-	<b>3.0</b>	0.38	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>	-	<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2.3 空調方式</b>	-	<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.6</b>	0.25	-	-	<b>2.6</b>
<b>3.1 昼光利用</b>	-	<b>1.8</b>	0.30	-	-	
1 昼光率	-	<b>1.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 方位別開口	-	-	-	<b>3.0</b>	-	
3 昼光利用設備	-	<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
<b>3.2 グレア対策</b>	-	<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 昼光制御	-	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 照度</b>	-	<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-	
<b>3.4 照明制御</b>	-	<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
<b>4.1 発生源対策</b>	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	-	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
<b>4.2 換気</b>	-	<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 換気量	-	<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 自然換気性能	-	<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
3 取り入れ外気への配慮	-	<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
<b>4.3 運用管理</b>	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	-	-	<b>3.0</b>	1.00	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.9</b>	0.40	-	-	<b>2.9</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>	-	<b>2.3</b>	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	-	<b>1.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 高度情報通信設備対応	-	<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
3 バリアフリー計画	-	<b>3.0</b>	0.33	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>	-	<b>3.6</b>	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	-	<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース=127m <sup>2</sup>	<b>5.0</b>	0.33	-	-	
3 内装計画	-	<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
<b>1.3 維持管理</b>	-	<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>	-	<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 車体材料の耐用年数	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	<b>3.0</b>	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	<b>3.0</b>	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.4 信頼性</b>	-	<b>2.6</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
3 電気設備	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	-	<b>1.0</b>	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 空間のゆとり		事務所レベル4、倉庫レベル5	4.1	0.30	-	-
	1 階高のゆとり	2 空間の形状・自由さ		4.8	0.60	3.0	-
	3.2 荷重のゆとり		-	3.0	0.40	3.0	-
	3.3 設備の更新性			3.0	0.30	-	-
	1 空調配管の更新性	2 給排水管の更新性	-	2.4	0.40	-	-
	3 電気配線の更新性	4 通信配線の更新性		2.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)		-	1.0	0.20	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出	2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.10	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		-	3.0	0.10	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.20	-	-	2.0
LR 建築物の環境負荷低減性		BPIm=0.54	-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	2 自然エネルギー利用	-	5.0	0.20	-	-	5.0
3 設備システムの高効率化	集合住宅以外の評価		3.0	0.10	-	-	3.0
集合住宅の評価	集合住宅の評価	-	2.8	0.50	-	-	2.8
4 効率的運用	集合住宅以外の評価		2.8	1.00	-	-	3.0
4.1 モニタリング	4.2 運用管理体制	-	3.0	-	-	-	3.0
集合住宅の評価	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	3.0
4.2 運用管理体制	-	-	3.0	0.50	-	-	3.0
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.5
1 水資源保護	1.1 節水	-	3.0	0.20	-	-	3.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.40	-	-	3.0
2 非再生性資源の使用量削減	2 2 雜排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	3.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		1.0	0.20	-	-	3.0
3 汚染物質含有材料の使用回避	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	2.0	0.10	-	-	3.0
3.2 フロン・ハロンの回避	1 消火剤		3.0	0.20	-	-	3.0
3.2 フロン・ハロンの回避	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.70	-	-	3.0
3.2 フロン・ハロンの回避	3 冷媒		3.0	0.30	-	-	3.0
LR3 敷地外環境		-	-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	2 地域環境への配慮		3.7	0.33	-	-	3.7
2.1 大気汚染防止	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.33	-	-	3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制	2 污水処理負荷抑制	-	3.0	0.50	-	-	3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	3.0
3 周辺環境への配慮	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	1 騒音	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	2 振動		3.0	1.00	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3 悪臭	-	-	-	-	-	3.0
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	1 風害の抑制		3.0	0.40	-	-	3.0
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	2 砂塵の抑制	-	3.0	0.70	-	-	3.0
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	3 日照阻害の抑制		1.0	-	-	-	3.0
3.3 光害の抑制	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.30	-	-	3.0
3.3 光害の抑制	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.20	-	-	3.0
3.3 光害の抑制	-	-	3.0	0.70	-	-	3.0
3.3 光害の抑制	-		3.0	0.30	-	-	3.0

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	○		-	○	-	○	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○		-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		-	○	○			○	-	○	-	-	○	-	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0		○	-	○	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		-	○	○	-	-	-							
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	-	2.0	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	-	-	-	1.0	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0		-	2.0	1.0	2.0	-	-	-	-	-				
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雜排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 軀体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	11.0		-	1.0	2.0	2.0	3.0	-	-	1.0	1.0	1.0			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	-	-	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		-	1.0	-	1.0		-	1.0						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0											

**主な指標****Q1 室内環境**

## 2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m <sup>2</sup> K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC

## 3.1.1 昼光率

自然換気有効開口面積率	-
-------------	---

## 4.2.2 自然換気性能

**Q2 サービス性能**

## 1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	- /人	病床	- /床	シングル	- ツイン	-
コンセント容量	- VA/m <sup>2</sup>					
天井高	- m					
リフレッシュスペース	68.0%	レストスペース	0.0%			
想定耐用年数	- 年					
想定必要間隔	- 年					
想定必要間隔	- 年					
想定必要間隔	- 年					
階高	3.95 m					
壁長さ比率	-					
床荷重	- N/m <sup>2</sup>					

## 1.1.2 高度情報通信設備対応

## 1.2.1 広さ感・景観

## 1.2.2 リフレッシュスペース

## 2.2.1 軀体材料の耐用年数

## 2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

## 2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

## 2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

## 3.1.1 階高のゆとり

## 3.1.2 空間の形状・自由さ

## 3.2 荷重のゆとり

**Q3 室外環境(敷地内)**

## 1 生物資源の保全と創出

## 3.2 敷地内温熱環境の向上

**LR1 エネルギー**

## 1 建物外皮の熱負荷抑制

## 2 自然エネルギー利用

## 3 設備システムの高効率化

## 非住宅部分

## 集合住宅の評価

**LR2 資源・マテリアル**

## 1.2.1 雨水利用システム導入の有無

## 2.4 軀体材料以外におけるリサイクル材の使用

## 2.5 持続可能な森林から産出された木材

## 3.2.1 消火剤

## 3.2.2 発泡剤(断熱材等)

## 3.2.3 冷媒

**LR3 敷地外環境**

## 2.2 温熱環境悪化の改善

外構緑化指数	-	建物緑化指数	-
空地率	-	水平投影面積率	-

地表面対策面積率	-	舗装面積率	-
----------	---	-------	---

BPI/BPI <sub>m</sub>	0.54	断熱等性能等級	対象外 相当
自然エネルギー直接利用量	- MJ/年 m <sup>2</sup>	採光を満たす教室数	- 通風を満たす住戸数
		通風を満たす教室数	- 通風を満たす住戸数
		太陽光 .0kW	太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW
BEI/BEIm	再エネ有 0.63	無 0.63	オフサト再エネ有 - -
一次エネ削減率	再エネ有 無		- -

雨水利用率	-
特定調達品目	-
エコマーク商品	-
自治体指定の特定品目等	-
使用比率	-
オゾン層破壊係数(ODP)	-
地球温暖化係数(GWP)	-
オゾン層破壊係数(ODP)	-
地球温暖化係数(GWP)	-
オゾン層破壊係数(ODP)	-
地球温暖化係数(GWP)	-

見付面積比	-	隣棟間隔指標Rw	-




<tbl\_r cells="4" ix="4" maxc